学校通信

天王丘XI

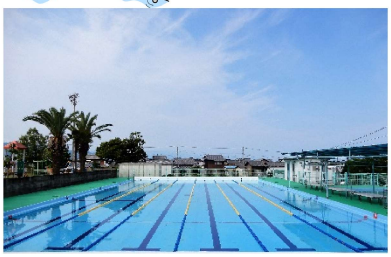
令和２年６月15日(月)
第　９　号
観音寺市立柞田小学校
発　行

水泳学習について

長い臨時休校が終わり、昼休みの運動場も元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られますが、気温の上昇や、梅雨による湿度の上昇などに起因する熱中症が心配になります。そんな中、臨時休校中に教職員で掃除したプールに水が入り、体育委員会児童の昼休みの活動などによって、水泳学習の準備が整いました。今年は新型コロナウイルスの感染防止のため、水泳学習を中止にする自治体もありますが、観音寺市では感染防止対策を行って実施することといたしました。

柞田小学校においても、本日放送による「プール開き」を行いましたので、これから順次、水泳学習が始まります。更衣室での３密を避けるための対策として、更衣室の隣にある図工室の窓に目隠しシートを貼り、図工室も更衣室として活用することにして、ソーシャル・ディスタンスを確保することにしています。

そのほかにもプールの塩素濃度を一定に保つなど、ガイドラインに示された対策を徹底し、安全に留意しながら水泳学習に臨みたいと考えていますので、ご理解いただきますようお願いします。



水泳の準備ができたプール

更衣室として使用される図工室

	学習内容	身に付けさせたい技能
低学年	・水の中を移動する運動遊び ・もぐる、浮く運動遊び	ア　水の中を移動する運動遊びでは、水につかって歩いたり走ったりすること。 イ　もぐる、浮く運動遊びでは、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりすること。
中学年	・浮いて進む運動 ・もぐる・浮く運動	ア　浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎをすること。 イ　もぐる、浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐり方や浮き方をすること。
高学年	・クロール　・平泳ぎ ・安全確保につながる運動	ア　クロールでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。 イ　平泳ぎでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。 ウ　安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く泳ぐこと。

さて、水泳学習は、学習指導要領でその内容が決められており、上の表のように、低学年が「水中の運動遊び」、中学年が「浮いて進む運動・もぐる運動」、高学年がクロールや平及びなどの泳法を学ぶ「水泳」として構成されています。また、児童は、それぞれの学年で設定された目標の達成をめざすとともに、水中での安全に関する知識、事故防止に関する心得と実践する能力を学びます。

毎年、夏になると水難事故の発生のニュースが流れます。先日も岐阜県において、川でおぼれた子ども２人を助けようとしたお父さんが亡くなっています。本校の児童には、水泳学習を通して水に慣れ親しむとともに、一方で命を守る方法を身に付けてほしいと思っています。

あこがれや夢を目標に変えて

日本の水泳選手で有名な人と言えば、近年では北島康介選手がおそらく上位にくると思います。北島選手は2004年のアテネオリンピック、2008年の北京オリンピックの2大会連続で、平泳ぎの100mと200mで金メダルを獲得しました。なぜ、勝てたのかという問いに北島選手は次のように答えたそうです。

「子どものころにオリンピックで日本の選手が活躍するのを見て、自分もいつかああなりたいと思いました。でも、そういう気持ちはある意味では現実離れしていて、やっぱり雲の上の世界のことなんです。あこがれや夢だけじゃ、パワーとしては足りない。きちんと目標をもって、努力して、一つずつクリアしていく。ぼくはそれができたから、あのころにあこがれた世界にたどり着けたのかも知れない。」

あこがれや夢を目標に変えて努力できる、北島選手の強さはそういうところではないでしょうか。

さて、柞小の子どもたちはどうでしょうか。まずはあこがれや夢をもっているのかどうか、そこから聞いてみたいですね。